



2027年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年8月6日

上場会社名 株式会社JCU

上場取引所

東

コード番号 4975

URL <https://www.jcu-i.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役会長兼CEO

(氏名) 木村 昌志

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員経営戦略室長

(氏名) 井上 洋二 (TEL) 03-6895-7004

配当支払開始予定日

—

決算補足説明資料作成の有無

: 有

決算説明会開催の有無

: 無

(百万円未満切捨て)

1. 2027年3月期第1四半期の連結業績(2026年4月1日～2026年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年3月期第1四半期	7,492	6.5	2,737	△2.3	2,907	2.2	2,075	2.5
2026年3月期第1四半期	7,037	19.0	2,802	40.4	2,845	27.2	2,024	34.2

(注) 包括利益 2027年3月期第1四半期 2,849百万円(298.0%) 2026年3月期第1四半期 715百万円(△70.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期第1四半期	84.29	—
2026年3月期第1四半期	81.25	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年3月期第1四半期	60,605	56,087	92.5
2026年3月期	62,679	54,567	87.1

(参考) 自己資本 2027年3月期第1四半期 56,087百万円 2026年3月期 54,567百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	—	41.00	—	54.00	95.00
2027年3月期	—	—	—	—	—
2027年3月期(予想)	—	90.00	—	90.00	180.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2027年3月期の連結業績予想(2026年4月1日～2027年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	15,700	10.1	5,900	2.1	6,000	3.8	4,100	△6.0	166.53
通期	33,400	12.6	12,300	1.2	12,500	0.4	8,800	△3.0	357.44

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社(社名)、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2027年3月期1Q	26,219,049株	2026年3月期	26,219,049株
② 期末自己株式数	2027年3月期1Q	1,599,326株	2026年3月期	1,599,326株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2027年3月期1Q	24,619,723株	2026年3月期1Q	24,921,235株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等の注記)	9
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第 1 四半期連結累計期間における国内経済は、個人消費において一時的に弱含んでいた消費者マインドに持ち直しの動きが見られたことに加え、雇用環境や企業収益の改善などにより景気は緩やかな回復基調が継続いたしました。製造業では、中東情勢の緊迫化に伴う各種原材料の価格や供給面への影響が懸念されるものの、堅調な生産用設備に加え電子部品に持ち直しの動きが見られ、生産活動は一進一退の状態推移しております。企業の投資状況は、デジタル化への対応においてその勢いが若干鈍化しているものの、省力化などへの対応を中心に持ち直しの動きが見られております。

海外では中国において、春節の影響により個人消費に一時的な持ち直しの動きが見られたものの、長引く不動産不況の影響を受け、景気は緩やかな減速基調が継続いたしました。また、製造業では対米輸出に下げ止まりの動きが見られたことに加え、自動車や半導体を中心に輸出が増加いたしました。欧米諸国においては、緩やかな持ち直しの動きが続いているものの、一部の地域では景気の回復に弱さが見られ、依然として先行きの不透明感が続いております。今後につきましては、引き続き中東情勢の影響による下押しリスク、為替をはじめとする金融資本市場の変動など不透明感が高まっており、より一層注視が必要な状況となっております。

当社グループを取り巻く事業環境は、エレクトロニクス産業において、引き続き生成AIをはじめとするサーバー関連分野への積極的な投資が市場の成長を牽引するとともに、様々な高機能電子デバイスも堅調に推移したことから、各種製品の出荷台数が増加いたしました。自動車産業は中国において、輸出が増加したものの、新エネルギー車優遇政策の変更によって中国内の需要が押し下げられたため、生産台数は減少いたしました。

その結果、当社グループの経営成績は次のとおりとなりました。

	前第 1 四半期連結累計期間 (自 2025年 4 月 1 日 至 2025年 6 月 30 日)	当第 1 四半期連結累計期間 (自 2026年 4 月 1 日 至 2026年 6 月 30 日)	前年比増減
売上高	7,037百万円	7,492百万円	6.5%増
営業利益	2,802百万円	2,737百万円	2.3%減
経常利益	2,845百万円	2,907百万円	2.2%増
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,024百万円	2,075百万円	2.5%増

セグメントの経営成績は、次のとおりであります。

(薬品事業)

電子分野

中国 スマートフォンやサーバー関連をはじめとする高機能電子デバイス向けプリント基板及び半導体パッケージ基板の需要が好調に推移し、薬品売上高は前年同期比で大幅に増加いたしました。

台湾 サーバー関連をはじめとする高機能電子デバイス向け半導体パッケージ基板の需要が好調に推移し、薬品売上高は前年同期比で増加いたしました。

韓国 メモリ需要の高まりにより半導体パッケージ基板需要の回復が継続し、薬品売上高は前年同期比で大幅に増加いたしました。

装飾分野

日本 デザイントレンドの変化に伴い薬品需要は低迷しておりましたが、当社が対象とする自動車部品の需要が増加したため、薬品売上高は前年同期比で増加いたしました。

中国 新エネルギー車優遇政策の変更によって中国内の需要が押し下げられたことで自動車の生産台数は減少したものの、当社が対象とする自動車部品の需要が増加したため、薬品売上高は前年同期比で増加いたしました。

	前第 1 四半期連結累計期間 (自 2025年 4 月 1 日 至 2025年 6 月 30 日)	当第 1 四半期連結累計期間 (自 2026年 4 月 1 日 至 2026年 6 月 30 日)	前年比増減
売上高	5,971百万円	7,057百万円	18.2%増
セグメント利益	2,843百万円	2,939百万円	3.4%増

(装置事業)

受注案件は予定通り進行いたしましたが、売上高及びセグメント利益は大幅に減少いたしました。

	前第 1 四半期連結累計期間 (自 2025年 4 月 1 日 至 2025年 6 月 30 日)	当第 1 四半期連結累計期間 (自 2026年 4 月 1 日 至 2026年 6 月 30 日)	前年比増減
売上高	1,065百万円	435百万円	59.2%減
セグメント利益	204百万円	57百万円	72.1%減
受注高	364百万円	1,135百万円	212.0%増
受注残高	618百万円	1,114百万円	80.3%増

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第 1 四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ2,073百万円減少し、60,605百万円となりました。

流動資産は、主に現金及び預金の減少により2,360百万円減少し、36,830百万円となりました。

固定資産は、建設仮勘定が減少した一方で機械装置及び運搬具（純額）や工具、器具及び備品（純額）等の増加により287百万円増加し、23,775百万円となりました。

(負債)

当第 1 四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べ3,593百万円減少し、4,518百万円となりました。

流動負債は、未払法人税等やその他の中に含まれる設備未払金の減少により3,642百万円減少し、3,927百万円となりました。

固定負債は、主に繰延税金負債の増加により49百万円増加し、591百万円となりました。

(純資産)

当第 1 四半期連結会計期間末の純資産合計は、主に利益剰余金の増加により前連結会計年度末に比べ1,519百万円増加し、56,087百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の見通しにつきましては、電子分野向け薬品は、半導体関連市場における、AIやIoTの普及及び自動車の自動運転など様々なデジタル技術の革新に伴い、中長期的には当社事業に関連するプリント基板、半導体パッケージ基板の需要が拡大すると予想されます。一方、装飾分野向け薬品は、主な対象となる自動車部品において、デザイントレンドの変化や電気自動車の普及による需要の低迷が影響しており、今後も横ばい基調で推移するものと予想されます。

このような状況を踏まえ、当社グループは中長期の方向性として「2035年に目指す姿」を「独自の強みを最大限に活かし、環境や社会に貢献することで、社会とともに成長し続けるグローバル企業」と定め、日々変化する外部環境に対応しつつ、常に技術・サービス体制を強化していくことで、社会価値と経済価値の追求による企業価値向上を図ってまいります。

また、これを実現するため、当社グループは中期経営計画「JCU VISION 2035 -1st stage-」（2025年3月期～2027年3月期）を策定し、「成長分野への積極的な投資」、「経営基盤の強化」、「DX推進によるデータの利活用」、「既存市場における収益性強化」、「サステナビリティ経営の推進」及び「人的資本、知財・無形資産の活用」を基本方針に、取り組みを推進してまいります。2027年3月期の連結業績予想につきましては、2026年5月12日に公表した第2四半期連結累計期間及び通期連結業績予想の数値から修正等はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年 3 月 31 日)	当第 1 四半期連結会計期間 (2026年 6 月 30 日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	24,229	22,268
受取手形	809	652
売掛金	8,287	8,123
電子記録債権	575	491
契約資産	436	203
商品及び製品	2,221	2,235
仕掛品	84	173
原材料及び貯蔵品	842	942
その他	1,761	1,799
貸倒引当金	△56	△58
流動資産合計	39,191	36,830
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	9,835	10,215
機械装置及び運搬具（純額）	1,013	3,571
工具、器具及び備品（純額）	1,074	1,993
土地	2,153	2,988
リース資産（純額）	13	10
建設仮勘定	5,593	1,028
有形固定資産合計	19,682	19,808
無形固定資産		
その他	300	340
無形固定資産合計	300	340
投資その他の資産		
投資有価証券	2,008	2,445
繰延税金資産	1,074	752
その他	422	427
投資その他の資産合計	3,504	3,626
固定資産合計	23,487	23,775
資産合計	62,679	60,605

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年 3 月 31 日)	当第 1 四半期連結会計期間 (2026年 6 月 30 日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,027	1,036
短期借入金	300	-
1年内返済予定の長期借入金	30	15
リース債務	15	15
未払法人税等	1,895	814
契約負債	276	238
賞与引当金	431	237
その他	2,593	1,569
流動負債合計	7,569	3,927
固定負債		
リース債務	6	2
退職給付に係る負債	184	194
繰延税金負債	256	300
資産除去債務	69	69
その他	25	25
固定負債合計	542	591
負債合計	8,111	4,518
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,281	1,281
資本剰余金	1,222	1,222
利益剰余金	50,099	50,844
自己株式	△5,397	△5,397
株主資本合計	47,206	47,951
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	717	1,039
為替換算調整勘定	6,643	7,096
その他の包括利益累計額合計	7,361	8,135
純資産合計	54,567	56,087
負債純資産合計	62,679	60,605

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第 1 四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第 1 四半期連結累計期間 (自 2025年 4 月 1 日 至 2025年 6 月 30 日)	当第 1 四半期連結累計期間 (自 2026年 4 月 1 日 至 2026年 6 月 30 日)
売上高	7,037	7,492
売上原価	2,262	2,321
売上総利益	4,774	5,170
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	629	690
賞与	187	193
退職給付費用	53	45
減価償却費	158	370
貸倒引当金繰入額	-	1
その他	943	1,131
販売費及び一般管理費合計	1,972	2,433
営業利益	2,802	2,737
営業外収益		
受取利息	23	24
受取配当金	23	23
為替差益	-	123
助成金収入	31	12
貸倒引当金戻入額	1	-
その他	2	0
営業外収益合計	82	184
営業外費用		
支払利息	1	1
為替差損	31	-
持分法による投資損失	2	6
投資事業組合運用損	2	3
その他	0	3
営業外費用合計	39	15
経常利益	2,845	2,907
特別利益		
固定資産売却益	10	2
特別利益合計	10	2
特別損失		
固定資産除却損	1	0
特別損失合計	1	0
税金等調整前四半期純利益	2,855	2,909
法人税、住民税及び事業税	635	603
法人税等調整額	195	229
法人税等合計	830	833
四半期純利益	2,024	2,075
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,024	2,075

四半期連結包括利益計算書

第 1 四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第 1 四半期連結累計期間 (自 2025年 4 月 1 日 至 2025年 6 月 30 日)	当第 1 四半期連結累計期間 (自 2026年 4 月 1 日 至 2026年 6 月 30 日)
四半期純利益	2,024	2,075
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	79	321
為替換算調整勘定	△1,386	451
持分法適用会社に対する持分相当額	△1	1
その他の包括利益合計	△1,308	774
四半期包括利益	715	2,849
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	715	2,849

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

I 前第 1 四半期連結累計期間(自2025年 4 月 1 日 至2025年 6 月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	薬品事業	装置事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	5,971	1,065	7,037	—	7,037
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	5,971	1,065	7,037	—	7,037
セグメント利益	2,843	204	3,047	△245	2,802

(注) 1. 調整額の内容は次のとおりであります。

セグメント利益

(単位：百万円)

	当第 1 四半期連結累計期間
セグメント間取引消去	—
全社費用※	△245
合計	△245

※全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第 1 四半期連結累計期間(自2026年 4 月 1 日 至2026年 6 月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	薬品事業	装置事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	7,057	435	7,492	—	7,492
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	7,057	435	7,492	—	7,492
セグメント利益	2,939	57	2,996	△259	2,737

(注) 1. 調整額の内容は次のとおりであります。

セグメント利益

(単位：百万円)

	当第 1 四半期連結累計期間
セグメント間取引消去	—
全社費用※	△259
合計	△259

※全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第 1 四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第 1 四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第 1 四半期連結累計期間 (自 2025年 4 月 1 日 至 2025年 6 月30日)	当第 1 四半期連結累計期間 (自 2026年 4 月 1 日 至 2026年 6 月30日)
減価償却費	223百万円	572百万円